



カンボジア王国 「分娩時および新生児期を中心とした母子継続ケア改善プロジェクト」
 ~ Project for Improving Continuum of Care
 with focus on Intrapartum and Neonatal Care in Cambodia (IINEoC Project)~



ニュースレター 第20号
 2018年3月

スバイリエン州全域で「出生直後の新生児ケア（INC）」研修が完了！

スバイリエン州全域の助産師、産科医、行政技術職総勢211名を対象に、全18回の出生直後の新生児ケア研修（Immediate Newborn Care : INC=出生後90分間に行う必須新生児ケア）が完了しました！

プロジェクト当初、スバイリエン州には講師も研修機材もなく、ゼロから研修体制を構築しました。国立母子保健センター研修部の協力の下講師育成のTOT（Training Of Trainers）からはじめ、研修機材を調達し、ようやく州独自でINC研修をスタートさせたのが約1年前（2017年3月）です。

この1年間を通して、州保健局母子保健課長のリーダーシップの下、郡保健局の母子保健課とうまく連携しながら、局内手続き、研修員のノミネート、講師の人員配置など調整を繰り返すことで、州/郡保健局・州病院の連携を通じた州全体の研修体制が強化されました。



INC研修実施マネジメントの中心的役割を担ったスバイリエン州母子保健課長（左2人目）と研修講師として活躍した各郡保健局母子保健課長、林専門家（右3人目）、プロジェクト現地スタッフ（右1人目）、研修日程最終日に。

次のステップは、サポーターティブ・スーパービジョン、定期EENC会議の開催です。

INC研修を完了後の次のステップとして、州保健局の行政技術職、州病院の産科医や助産師、郡保健局の母子保健担当官が三位一体となり、INC研修修了生全211名が働く州内全ての保健医療施設（約50カ所）を巡回し、現場での新生児ケアの実践をモニタリングするサポーターティブ・スーパービジョンを実施します。INC研修と同じチェックリストを用いて知識・技術を現場で再チェックを行います。

その後、サポーターティブ・スーパービジョンで抽出された現場の実践課題を共有、課題解決のためのアクション策定を行うEENC会議を開催します。

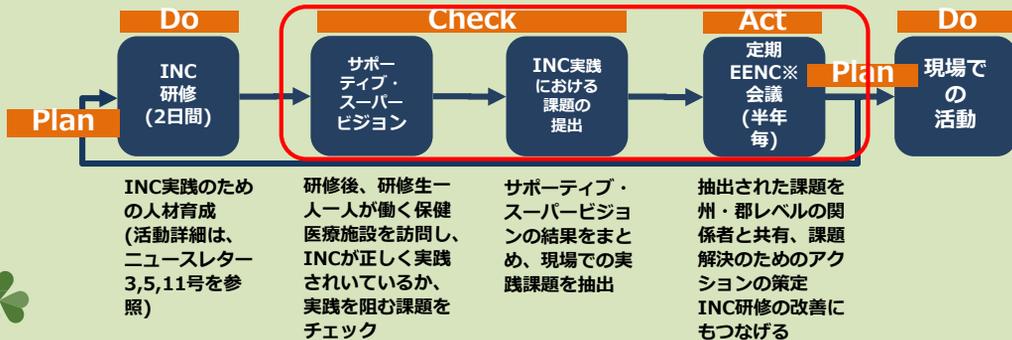
サポーターティブ・スーパービジョンとは？

行政機関や上位の病院が保健医療施設を訪問し、そこで働く医療従事者に直接助言・指導を行い具体的な改善につなげていくこと。

EENC（早期必須新生児ケア）会議とは？

州保健局、各郡保健局の関係者が集まり、州内の新生児ケアの計画や課題検討を行う州内の全体会議。

右図「出生直後の新生児ケア定着のための活動の流れ」（詳細はニュースレター12号を参照）の赤枠内の活動にあたります。



保健センター助産師のINCスキルチェックを行う州病院産科医長（中央奥）。



訪問した保健センターで、保健センタースタッフと。

2018年3月にスバイリエンで初めて出生直後の新生児ケア（INC）実践に対するサポーターティブ・スーパービジョンが実施されました。INC研修の実施を通して強化された州保健局/州病院/郡保健局の連携体制が発揮され、役割分担や進捗が非常にスムーズに行われていた印象でした。しかし、課題として、研修受講からしばらく経ちINC実践を忘れていた保健センター助産師が散見されたことが挙げられます。だからこそ定期的なスーパービジョンが大切です。今後も本活動を通してモニタリングをプロジェクトで支援していきます。